

# 平成30年度事業報告書

社会福祉協議会では、「住みやすく支え合いを実感できるまちづくり」を基本理念に掲げ、住みやすい環境の中で、地域の人々がお互いに支え合い、誰もが生涯輝いて暮らせる地域を目指し活動してきました。

複合的な課題が山積する昨今、住民同士のつながりが希薄化していく一方で福祉ニーズも多様化し、地域住民や諸団体の参加と協力、協働による多様な福祉活動や福祉サービスの一層の充実が求められています。また、近年の少子高齢化の進展や地域社会での相互扶助機能の低下などにより、子育てに悩む家庭や障がいのある親族と暮らす家庭、要介護状態にある高齢者などの日常生活に不安を抱える住民が、地域のなかで孤立してしまうことが懸念されています。その様な不安に対し、問題解決に向けた仕組みづくりについて市内8地区に設置された地域支え合い協議体のなかでも盛んに議論が進められています。ここでは、地域住民を中心に行政、関係団体が協働し住民同士で支え合い、自分にできる活動の仕組みを構築し、それを広め、また発掘し、地域の福祉力を高める活動について検討がなされています。

社会福祉協議会では、公的な福祉サービスだけでは対応できない生活課題や、公的な福祉サービスでの総合的な対応が不十分であることなどから生まれる問題等を、藤岡市はもとより関係機関や団体等との緊密な連携を図りながら、平成30年度事業計画で定めた重点事業である「健全な法人運営の在り方」「介護保険事業の運営」「総合相談窓口の運営」「ボランティアセンターの運営」等に努め、以下の事業を実施いたしました。

## 1. 会員の状況

会 員	20,057世帯
賛助会員	186世帯
特別賛助会員	333社

## 2. 理事会・評議員会等開催状況

理事会	3回
評議員会	3回
監査会	1回
広報委員会	3回
評議員選任・解任委員会	3回

## 3. 広報活動

年3回発行している「社協だより」、「SNS」と併せて、「広報ふじおか」にも掲載を依頼するなど福祉事業のピーアールに努めました。

#### 4. 指導・育成

##### ①本会役職員の研修について

内部研修の他、他機関の研修会等への参加を通して資質の向上や知識の習得に努めました。

##### ②実習生の受入れ

次世代を担う人材を育成するため、実習生の受け入れを行いました。対象は藤岡市在住、在勤、在職者で、社会福祉士養成における相談援助実習や教員の介護現場実習等、資格や単位取得に向けた内容の他、高校生や地元小中学生の体験学習の受入れも行いました。

#### 5. 地域福祉活動

心配ごと相談や結婚相談を定期的に開催し、社会不安の解消や結婚活動の相談等に努めました。

事業名	開催日数	相談件数	紹介件数	成立件数
心配ごと相談事業	48日	42件	—	—
結婚相談事業	32日	230件	8件	0件

#### 6. 善意銀行

市民の善意に基づく金品の寄付を受けました。

種類	件数	金額	摘要
一般寄付	19件	1,210,098円	
愛の募金	2件	12,280円	
物品	34件	—	米、タオル、介護用品、その他日用品等

#### 7. 福祉関係団体助成

福祉関係団体等との連携を図って活動の推進に努めると共に、民児協、連合婦人会、身障連、子ども会育成会、保育部会、支部社協に助成を行いました。

#### 8. 収益事業

##### (1) 福祉バザー

藤岡市民ホールを会場に区長会、民生委員児童委員協議会、連合婦人会、ボランティア協議会と協働し福祉バザーを行いました。

- ・開催日 平成30年6月24日(日) 午前10時～
- ・提供物品数 4,556点
- ・売上金額 750,600円

##### (2) 自動販売機清涼飲料売り上げ代

- ・収益金 161,051円

## 9. 歳末たすけあい運動

「みんなで支え合う温かい地域づくり」を目指して、毎戸100円以上のたすけあい募金をお願いしました。

地区名	平成29年度	平成30年度	前年対比
藤岡	442,811円	448,260円	5,449円
神流	256,500円	256,500円	0円
小野	371,500円	373,700円	2,200円
美土里	232,000円	232,000円	0円
美九里	162,300円	161,900円	△400円
平井	123,400円	126,200円	2,800円
日野	55,500円	53,400円	△2,100円
鬼石	201,330円	199,500円	△1,830円
合計	1,845,341円	1,851,460円	6,119円

## 10. 各種援助活動

生活が困窮している社会的弱者を対象に、群馬県社会福祉協議会と連携のもと、相談支援や資金の貸付を行い安定した生活が送れるよう制度の推進に努めました。

### (1) 貸付、給付事業

生活福祉資金貸付事業	件数	貸付額
総合支援資金（離職者支援資金含む）	0件	0円
福祉費	0件	0円
緊急小口資金	20件	790,000円
教育支援資金	0件	0円
不動産担保型生活資金	0件	0円
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	0件	0円
臨時特例つなぎ資金	0件	0円
合計	20件	790,000円

独自制度	件数	貸付額
小口生活資金貸付事業	0件	0円
緊急時食料支援事業	0件	0円

(2) 災害見舞い

種別	件数	見舞金詳細
火災見舞い	4件	全焼 10,000円/1件につき
		半焼 5,000円/1件につき
		死亡 10,000円/1人につき

(3) 行路者救済

種別	件数	金額	備考
行路者救済	2件	600円	300円/1件につき

11. 日常生活自立支援事業

主に判断能力が不十分な方が安心して生活ができるよう、日常的な金銭管理や通帳預かり等の支援を行いました。また、適切な支援を行うことが出来るよう、生活支援員の資質向上に向けた研修会等を開催しました。

・実施状況

実利用者数	45人
延べ利用者数	513人
相談件数	768件
契約件数	7件

※内訳：認知症高齢者2件、精神障害者5件

・生活支援員

登録数	延べ稼働時間	賃金
23人	838.5時間	850円/1時間

12. 生活困窮者自立支援事業

藤岡市より生活困窮者自立支援事業の委託を受け、就労の支援その他の自立に関する問題について生活困窮者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言等を行いました。

新規相談件数	相談支援事業申込件数	プラン作成件数	支援調整会議開催日数
111件	17件	30件	6回

13. 生活支援体制整備事業

藤岡市より生活支援体制整備事業の委託を受け、地域における支え合いの体制づくりの推進を目的として、各地区協議体や第一層に係わる会議の開催、協議体委員を対象とした研修会の開催等を行いました。

開催内容	開催数
各地区協議体（市内8地区）	48回
第1層分科会（第1～4分科会）	24回
第1層全体会	3回

- ・藤岡市地域支え合い研修会（全2回）

開催日 1回目：平成31年1月30日（水）

2回目：平成31年2月12日（火）

のべ参加者数 118名

#### 14. 総合相談窓口（新設）

平成30年度に相談窓口を開設し、誰にも助けを求められずに、社会的に孤立している人や制度の狭間で支援を受けられない人などに対し、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）が様々な生活課題を抱える世帯への相談支援を行いました。

- ・実施状況

開所日数	相談件数			
	実件数	86件	延件数	331件
246日				

- ・実相談件数内訳

相談内容	件数	相談内容	件数
病気や健康・障害のこと	7件	DV・虐待	0件
家賃やローンの支払いについて	0件	収入生活費のこと	11件
仕事探し・就職について	2件	衛生環境のことについて	3件
家族との関係について	8件	地域との関係について	4件
ひきこもり・不登校	9件	介護関連のことについて	10件
住まいについて	4件	生活福祉資金について	10件
税金や公共料金等の支払について	3件	債務について	1件
仕事上の不安やトラブル	0件	食べるものがない	2件
子育てのこと	2件	その他	10件

#### 15. 高齢者自立センター事業

介護認定審査により、結果が非該当で介護予防が必要と認められた高齢者を対象に、事業を推進しました。

	事業名	実施日数	延べ利用者数
藤岡市高齢者 自立センター藤岡	デイサービス事業	150日	1,225人
	ホームヘルプ事業	174日	430人
	転倒骨折予防	43日	158人
	短期集中トレーニング	44日	181人
藤岡市高齢者 自立センター鬼石	デイサービス事業	183日	642人
	ホームヘルプ事業	144日	182人
	転倒骨折予防	42日	115人
	短期集中トレーニング	14日	42人

## 16. ミニデイサービス事業

概ね75歳以上の高齢者を対象に市内68会場でミニデイサービスを開催し、地域に暮らす高齢者の介護予防に努めました。

延べ利用者数	5,402人
延べ実施回数	790回（1会場につき月1回開催）
会場数	68か所

## 17. 学童保育所運営事業

仕事などの事情で昼間保護者がいない家庭の児童を預かる「みどの学童クラブ」の運営を市から受託して行いました。

開所日数	296日
登録児童数	48人（中途退所者12名含む）

## 18. 栗須の郷運営事業

浴場の利用やレクリエーションの場等を提供して、市民福祉の向上に努めました。

開所日数	306日
延べ利用者数	71,436人（内・市民60,100人 全体の84.13%）

## 19. ふれあい型食事サービス事業

住み慣れた地域で安心して暮らせることを目的とし、地域のボランティアを中心に70歳以上で近隣に子供のいない虚弱な高齢者等へ、食事を配達しながら安否確認を行いました。孤独感の解消を図るとともに、地域住民の福祉活動に対する意識を高め、近隣でのたすけあいの輪が広がりました。

実施地区	実施日数	延べ配食数	備考
藤岡地区	44日	1,839食	月4回（第1～4木曜日）
鬼石地区	24日	209食	月2回（第2・4木曜日）

## 20. ボランティアセンター（新設）

平成30年度に「ボランティアセンター藤岡」を新たに設置し、平日に加え第一土曜日も開所することで相談機能の強化を図り、また、資質の向上とグループ間の交流を図る事を目的に、各種講習会、研修会等を開催し、指導、育成に努めました。

更に、ボランティアネットワークセンターウィズと協力し、活動を希望する個人や団体、ボランティアの応援を受けたい人との橋渡しを行いました。

また、近年多発している災害に備え、職員を対象に災害時のボランティアセンター開設に向けた設置訓練や研修会を実施しました。

登録団体数	50団体（延1,030人）
個人ボランティア登録数	67人

- ・災害時ボランティアセンター設置訓練 4回（群馬県総合防災訓練参加含む）  
研修会「テーマ：災害時における社協の役割及びBCP策定の必要性」  
平成30年12月10日（月） 28名参加（市職員、ボランティア、社協職員）

- ・点訳奉仕者養成講座
 

土曜日コース	3日間
体験コース	1日間
延べ参加者数	7人参加

## 21. 老人福祉車（手押し車）の一部購入補助事業

老人福祉の向上を目的に、高齢者の日常生活を支援するため、老人福祉車（手押し車）を購入する費用の一部を助成しました。

- ・補助台数 25台
- ・助成額 125,000円（1台につき5,000円を補助）

## 22. 福祉車両貸出事業

藤岡市より福祉車両貸出事業の委託を受け、介護を必要とする高齢者や障害者等に、車いすごと移動可能な自動車を貸し出し、社会参加と生活圏の拡大を図ることを目的とした事業を行いました。

- ・貸出件数 38件

## 23. 福祉教育推進事業

児童・生徒が体験学習の機会を通じて、社会福祉への理解と関心を高めると共に、日常生活面での相互扶助、社会連帯が大切なことを認識させるため、小・中学校を対象に福祉教育の推進を図りました。また、体験用具の貸出や実習実施の補助として福祉教育の推進に努めました。

## 24. 安心カード交付事業

緊急連絡先、かかりつけ医、服薬等の情報を記載したカードを冷蔵庫に保管しておくことで、緊急時や急変時に対応が出来る、安心・便利な「安心カード」の配布を行いました。

この事業は平成24年度から、藤岡市民生児童委員協議会と共催で実施しています。

- ・累計配布状況

配布先	世帯数
65歳以上一人暮らし世帯	1,294世帯
障害者（児）のいる世帯	88世帯
その他の世帯	189世帯
合計	1,571世帯

## 25. 見守り支援推進事業

様々な生活課題が地域に山積している中、ひきこもりに焦点をしぼり、ひきこもりの家族の方がリフレッシュ出来ることを目的としたサロンの実施、啓発を目的とした講演会の開催等を行いました。

・「ほっとサロン」実施状況

延べ開催数	12回
延べ参加者数	22名

・ひきこもりの家族を支える講演会

開催日 平成31年3月26日(火)

演題 「ひきこもりの方の理解とコミュニケーションのとり方、ひきこもりの家族への支援」

参加者数 81名

## 26. 在宅福祉サービス

### (1) 介護保険サービス

サービス種別	営業日数	実施状況	
居宅介護支援	248日	延べケアプラン作成数	1,433件
通所介護(デイサービス)	304日	延べ利用者数	4,640人

### (2) 介護保険外サービス

サービス種別	開所日数	実施状況	
在宅介護支援センター栗須	365日	延べ相談件数(訪問含む)	1,210件
在宅介護支援センター鬼石	365日	〃	1,413件

サービス種別	営業日数	実施状況	
通所介護(身障者デイサービス)	304日	延べ利用者数	229人

サービス種別	営業日数	実施状況	
介護タクシー	120日	延べ稼働数	298回

## 27. 障害福祉サービス事業所さくらの家の事業経営

障害福祉サービス事業所の指定を受け事業経営を行いました。

種別	開所日数	年間利用者数	登録人数	平均工賃(月額)
生活介護事業	245日	2,433人	11人	4,167円
就労継続支援B型事業	245日	2,408人	14人	9,368円